

# 阿寒湖畔の倒木 オブジェに

学内に常設展示された「螺旋」を前に「森と大学はつながっていることを感じてほしい」と話す福江良純准教授

## 釧教大卒業の山本さん 在学中制作



山本遥さん

作品は同校美術研究室を昨春、卒業した山本遥さん(23)の「螺旋」。1本のニレの木をチェーンソーで切り分け、大小計4本の柱からなる力強い彫刻に仕上げた。

制作のきっかけは、2014年10月に阿寒湖畔の森で行われた森林演習に参加

道教大釧路校の中庭に2月、木のオブジェが建てられた。卒業生が在学中に釧路市阿寒湖畔の倒木で制作した作品。「学ぶべきことが多くある」とし、同校の取り組みを象徴する作品の一つとして異例の常設展示となった。(山崎真理子)



## 森の息吹伝える「螺旋」

### 異例の学内常設展示

したこと。「阿寒の森」を散策した時に感じた地面から沸き上がる生命の強さ」に発想を得て、約3カ月かけて完成させた。

同研究室は、学生に課す木彫の材料として、地元の「阿寒の森」の間伐材や倒木を活用している。担当の福江良純准教授はかねてより「阿寒の森の息吹が感じられる作品を学内に設置したい」と考えていたため、山本さんの作品を「ぴったりとほまる素晴らしい作

品」と評価。学内に働きかけ、1年がかりで設置にこぎ着けた。

同校にまだ若い卒業生の学生時代の作品が常設展示されるのは「極めてまれ」という。上川管内中川町で「木育」担当の嘱託職員として働く山本さんは「置き場がなく廃棄するしかなかった作品が母校に展示され、すごくうれしい。作品を機に多くの学生に木彫を知ってもらいたい」と喜んでいる。

恋問の入りルさクタクイカる場形紹介



## 開陽台 エント

【中標津運動公園】「第8回たんさんまんさん」(町受け付け)昨年ハの3種目参加。